

港区議会議員(無所属)

ゆき なかまえ由紀の港区 虎の巻

発行/みらい(みらい通信(号外)) 〒106-0047東京都港区南麻布4-11-17-112 TEL&FAX03-3446-9033 E-mail: yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

第4回 定例会 (11月27日～12月5日)

<なかまえ由紀 質問>

① 高齢者が在宅で安心して暮らせる仕組みの構築について
緊急時や一定時間トイレの利用が無い場合に警備員が出勤する「緊急通報システム」は心強い制度で利用料も月400円と安価。この制度の普及等、高齢者が在宅で安心して暮らせる仕組みを早急に整備すべき。

② 高齢者の住まいの確保について

区内の賃貸住宅は家賃が高く、公的住宅は空きが無いなど、高齢者が区内で新たに住宅を探すのは困難。高齢者の住まいの確保に関し、抜本的対策を。

③ みなとタバコルールについて

みなとタバコルールはインパクトが低く、港区は歩行喫煙に甘いと思われている。喫煙できる場の確保と罰則のセットでなければ効果は得られない。現在のタバコルールはメッセージが伝わりにくく、罰則が無く喫煙所も少ない、喫煙者にも非喫煙者にもやさしくない制度。もっと明確な方向性を出すべき。

④ 区立中学校への進学率の低さについて

港区では私立志向が強く区立中学への進学率が低い。保護者アンケートでは学校に学力向上を求めている親が多い。「周りが皆私立に行くので不安」「塾や私立に行かせなくとも、公立で安心できる教育をしてほしい」という声も聞く。公立学校で大丈夫という自信を持ってもらうためにも、子どもをやる気にさせる指導力の高い教師の確保が重要。

<小斉太郎議員 質問>

「次期基本計画の策定過程について」質問しました。

<意見書の送付>

「周産期医療体制の充実に関する意見書」を少子化・男女共同参画担当大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣あて送付いたしました。

港区議会議員 なかまえ由紀 行
FAX **03-3446-9033**

区政相談状(FAX相談状)

普段感じていらっしゃるご意見や皆様の生の声をお聞かせください。

お名前(ふりがな)	住 所	TEL
-----	〒 -----	
	東京都港区	

港区議会議員(無所属)

ゆき なかまえ由紀



の港区 虎の巻

Vol.39

発行/みらい(みらい通信(号外))
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112
TEL&FAX 03-3446-9033
✉ yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

発行日:H20.12.20



第3回 定例会 (9月18日～10月10日)

<なかまえ由紀 質問>

① 共同住宅防犯対策助成事業について
今年度初めて実施したが、10～15件の助成枠に対し66件の申し込みがあり、抽選で13件が助成対象になった。公平性の観点、そして区民の9割が住んでいる集合住宅で防犯対策が進むよう助成枠を増やすなどの工夫が必要。→第4回定例会にて抽選にもれた共同住宅へも助成が決定。

【メモ】共同住宅防犯対策助成事業とは
マンションが防犯カメラやオートロックシステムなど防犯設備を取り付ける際、費用の1/2(上限50万円)を助成。

② 建築紛争の予防について
区内では毎年約200件の中高層建築物が計画されており、近隣住民の立場に立った区の対応が必要。
・近隣への家屋調査が徹底されるよう対策を。
・近隣説明会の案内が確実に住民にいきわたるよう対策を。

③ 地域に調和するワンルームマンションを
ワンルームマンションは現状地域からあまり歓迎されていないが、区内でのワンルーム需要は一定数ある。全世帯数の10%を占める高齢者単身世帯も今後さらに増えていくことが予想される。そこでバリアフリー設備等を備えた高齢者向け住宅の設置を一定数義務付けてはどうか。また駐輪場の十分な数の確保や地域コミュニティへの協力など地域と調和できるマンションとなるよう対策を。

④ エレベーターの閉じ込め対策について
災害時等のエレベーター閉じ込め事故対策として、水や非常用食料、簡易トイレ、ラジオ付ライト、AEDなどがコンパクトにまとめられた備蓄ボックスがある。区有施設や民間施設のエレベーターに設置を進めるべき。

<小斉太郎議員 質問>

「絶対高さ制限」「外郭団体が指定管理者となることの是非」「コミュニティバスの採算性」について質問しました。

決算特別委員会

貯金1,223億円、19年度の余剰金101億円と極めて豊かな財政状況の現在ではあるが、区役所の仕事を膨らませない行財政改革推進の立場で審議に臨んだ。

<なかまえ質問>

- ・各地域防災協議会で避難所運営マニュアルが早期に作成されるよう支援を。
- ・子どもたちの通学路の安全確保に力を入れよ。
- ・みなとタバコルールをもっと効果の上がる形に。
- ・地域猫対策の充実を。
- ・低コストで駐輪場の拡充を。
- ・高輪森の公園の安全対策と有効活用

<19年度決算へのみらいの態度>

今のみでなく未来への視点を持った区政運営を行うこと、「民」の多様な視点や専門性、柔軟性をさらに活かすこと、を区長に要望し、決算4案を認定。

* — なかまえ由紀 プロフィール — *

- 昭和49年 京都府生まれ
- 平成元年 私立同志社中学校卒業
- 平成4年 私立同志社高等学校卒業
- 平成9年 東北大学教育学部卒業
民間企業勤務を経て
- 平成11年 港区議会議員選挙に立候補(795票、14票差で落選、次次点)
税理士事務所勤務を経て
- 平成15年 港区議会議員初当選(1,406票、6位当選)
- 平成19年 港区議会議員選挙2期目当選(2,056票、2位当選)
「建設常任委員会」委員、「交通・環境等対策特別委員会」副委員長
- 趣味: 自転車で遠出すること
- 座右の銘: 一期一会



港区議会議員(無所属)

ゆき

なかまえ由紀の港区虎の巻



発行/みらい(みらい通信(号外)) 〒106-0047東京都港区南麻布4-11-17-112 TEL&FAX03-3446-9033 E-mail: yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

なかまえ由紀の主な質問・要望

総務費

町会・自治会の加入促進 …一般的な啓発にとどまらず、転入手続き時にその方の転入先住所にあたる個別の町会の案内を渡すことが効果的ではないか。

区で発行する冊子等刊行物の一元管理の必要性について …数多くの刊行物が毎年発行されている。管理を各所管任せせず、目的・経費・発行部数・配布方法・効果などを一元管理し、検証することで、無駄を省き、効果的な活用を追求すべき。また発行や管理に関して一定のガイドラインを定めるべき。

環境清掃費

資源プラスチック回収について …21年度の予算額は8億2千万円。多額の経費をかける以上、プラスチックリサイクルによる環境負荷への効果を試算することは急務。いつ頃どのような手法で行うのか。

環境施策のわかりやすい広報について …港区ではエコプラザでの魅力的なイベントの展開、あきる野市の区民の森での取り組み、緑化など数々の助成制度、すべてのプラスチックの回収など多くの独自の取り組みをしている。しかし計画など資料的な冊子が多く、それらがわかりやすくまとめられた冊子がない。わかりやすいハンドブックがあれば区民にやさしく、また事業効果も上がる。

衛生費

飼い主のいない猫対策の充実を …人間の身勝手に増えて近隣の迷惑になっている野良猫に去勢・不妊手術をし、増えすぎないようにした上でその猫たちを世話しているボランティアの人たちがいる。このような人たちがいなければ住環境が悪化するにもかかわらず、近隣の目を気にしてココソエさをあげなければならない現状もある。手術をしているのがわからず、えさをあげることで猫を増やしていると思われるからだ。このような誤解を解く啓発活動とボランティアへのさらなる支援を区に求める。

民生費

実情に合わせた家事援助サービスの必要性について …家事を担っている人が病気になったとき社会福祉協議会の「おむすびサービス」で家事援助を頼もうとしたが、規定で本人以外の家族の分の料理は作れないと言われ、あきらめた。実態に合わせた柔軟なサービス展開がなぜできないのか。

利用しづらい一時保育申し込み手続きの改善について …子どもを預けたい保護者から、申し込み日には何時間も電話がつながらず大変と聞く。利用者の利便性に資する申し込み手続きに改善すべき。

保育園入所判定における公正性、透明性の確保について …現在、入所判定は判断基準となる基準指数(親の労働条件を点数化)の高い方から内定し、同一指数の場合は入所会議メンバーの総合的判断で決めている。保育園待機児童が数多く存在し、入所がプラチナチケット化している今、入所判定における公正性、透明性の確保には細心の注意を払うべき。そこで①入所会議での総合判断は恣意的裁量の懸念を抱かれる可能性もあり、できるだけ客観的指数による選考がなされるよう、選考項目を増やし数値化するなど、入所判定制度の改善をすべき。②情報が少ないことにより申込者が不利になることのないよう、要綱・要領にある入所判定の仕組みをきちんと理解してもらった上で申し込みができるようにすべき。③結果を通知する際には、単に結果のみでなく指数を明示した上で、判定経緯をわかりやすく伝えるべき。④全ての申込者の判定経緯と結果を文書として残し、個人が特定されないようにした上で求めに応じて公開すべき。

土木費

放置自転車対策 …まずはきめ細かい駐輪場整備を。

区民向け住宅の家賃滞納者対策 …現在100万円以上滞納している人が19人。民間住宅より人数も額も多く、訴訟になってもほとんど完納には至っていない。困窮している滞納者には生活保護等早急に適切な対策を講じるとともに、悪質な滞納者には厳しい対応を。

港区議会議員(無所属)

ゆき

なかまえ由紀



の港区虎の巻

Vol.41

発行/みらい(みらい通信(号外))
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112
TEL&FAX 03-3446-9033
✉ yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

発行日:H21. 3. 26



平成21年第1回 定例会 (2月25日～3月19日)

<可決された主な議案>

「港区景観条例」(地域特性を生かした良好な景観形成を目指し新規に条例制定) 「港区みどりを守る条例の一部を改正する条例」(さらなるみどりの保全と創出を目指し条例改正) 「港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」(4月1日より費用弁償額を6千円から5千円に引き下げ)

平成21年度予算委員会 (3月6日～3月17日)

なかまえ由紀の所属会派「みらい」(小齊太郎幹事長)が審議にあたり重視したのは「区政運営におけるさらなる公正性、透明性の向上」および「潤沢な財政状況に甘んじず抑制的な財政運営に努めること」です。「みらい」は審議の中でそれらを指摘、要望し、予算案に賛成しました。

各会派から多岐にわたる質疑がなされ、平成21年度予算案は賛成多数で可決されました。

予算の特徴

<平成21年度港区一般会計予算>1,323億2,900万円

これまで蓄えてきた財政力を区民サービスに還元する積極型予算で、前年度比21.5%(234億2,900万円)増の港区始まって以来の大型予算(4つの特別会計を合わせた予算総額は1,674億267万7千円)

<主な事業> 「待機児童解消特別事業(港南3丁目に新たな保育室を整備)」、「出産費用助成の増額(上限を53万円から60万円に、双子の場合は68万円から80万円へ)」、「高層住宅等の震災対策(実態調査と啓発)」、「新規コミュニティバス実証運行(新規5路線)」、「周産期医療・小児医療連携協議会の開催」、「在宅緩和ケア支援(23区初。がん患者とその家族が住みなれた地域で在宅療養を受けられるようシステムを構築し、区内病院でのモデル事業を実施)」など。

港区議会議員 なかまえ由紀 行

FAX 03-3446-9033

区政相談状(FAX相談状)

普段感じていらっしゃるご意見や皆様の生の声をお聞かせください。

お名前(ふりがな)	住 所	TEL
〒	東京都港区	

* — なかまえ由紀 プロフィール — *

- 昭和49年 京都府生まれ
- 平成元年 私立同志社中学校卒業
- 平成4年 私立同志社高等学校卒業
- 平成9年 東北大学教育学部卒業
民間企業勤務を経て
- 平成11年 港区議会議員選挙に立候補(795票、14票差で落選、次次点)
税理士事務所勤務を経て
- 平成15年 港区議会議員初当選(1,406票、6位当選)
- 平成19年 港区議会議員選挙2期目当選(2,056票、2位当選)
「建設常任委員会」委員、「交通・環境等対策特別委員会」副委員長
- 趣味: 自転車で遠出すること
- 座右の銘: 一期一会



港区議会議員(無所属)

ゆき

なかまえ由紀の港区虎の巻

発行/みらい(みらい通信(号外)) 〒106-0047東京都港区南麻布4-11-17-112 TEL&FAX03-3446-9033 E-mail: yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp



《なかまえ由紀質問要旨 - 豊かな財政を活かして区民満足度の高い区政運営を》

質問

財政豊かな港区政の舵取りを行う武井区長の区政運営への考え方について伺う。

全国の自治体が財政難に苦しむなか、港区では財政的に豊かな状況が長年続いている。

バブル崩壊後マイナスが続いた実質単年度収支も平成12年頃からは回復に転じ、19年度からの住民税フラット化によっても大きな打撃を受けることなく、20年度基金残高は約1400億円にもなる。

平成8年度に15万人を割った人口も今や20万人を越え、増え続ける人口とそれに比例する特別区税収入の伸びを見ていると、港区の豊かな財政が立地上の特性に支えられていることを実感する。

近年、自治体ごとの独自性が発揮しやすくなり、全国の自治体が趣向を凝らした政策を打ち出し、活性化を競い合う様相も見られ、行政と議会の手腕が問われている。

河村たかし名古屋市長は住民税減税を約束したが、武井区長は預かった税金は減税ではなく質の高い行政サービスの提供でお返しすべきという考え方。

港区では豊かな財政基盤を背景に、子ども医療費の無料化、出産費用の無料化など特に子育て支援で目立った政策を打ち出してきた。このことも港区で近年顕著な幼少人口の増加に寄与していると思う。また近年、増えている土地の取得や子ども中高生プラザ等新規施設の整備、学校の改築、田町駅東口北地区の公共公益施設整備など多額の予算を要する事業に次々と着手できるのも豊かな財政基盤があつての話であり、武井区政では豊かな財政を活かして満遍なくいろいろな分野に財源を投入していると感じる。

たしかに様々な課題にバランスよく応えることも重要だが、財政豊かな港区だからこそ、もっと政策に優先順位をつけ、区民にとって本当に切実な課題に集中投資をし、問題解決を図ることができるのではないか。

全国でも特異な豊かさを誇る港区で、なぜ言われ続けている保育園の待機児童問題がもっと迅速に解消できないのか。高齢者や障害者をもっと安心して暮らすことはできないのか。区政の課題は数多くあるが、待機児童解消に代表される子育て支援、そして住みなれた地域で安心して老後を過ごせる体制作り、これら人々の将来への不安を解消することが行政の優先課題と考える。

財政豊かであればあれもこれもと総花的な事業展開がなされがち。約1800ある日本の自治体の中で今現在豊かであっても、先行き不透明な日本の将来に思いをはせ、そして区民により高い満足度を感じてもらうにはということを考えると、もっと事業の必要性を厳しく精査し、優先順位の低いものは削り、本当に深刻な課題に集中投資する、メリハリある区政運営が必要。

武井区長の区政の課題と区政運営についての考え方は?

答弁

将来に向けた安全で安心できる地域社会づくりに区民の関心が高いと感じている。また、子ども施策の充実や不況対策など、区政の課題解決に積極的に取り組む。先行き不透明な今こそ、これまで蓄えてきた磐石な財政力を活用し、港区ならではの質の高い行政サービスを提供する。

★コラム★

夏の到来とともにお祭りシーズンがやってきました。

区内では一般的に、7月に地域主催の納涼祭り、9月におみこしが出る神社の祭礼が各地で行われます。

最近まちで小さい子どもを連れた若い夫婦をよく見かけるようになり、まちの活気を感じていましたが、お祭りに遊びに来る人たちも若い人がここ数年でとても増えました。お祭りの数まで増えていて、新しいコミュニティができてきていることを実感します。

近年港区では、新しいマンションが増え、人口も右肩上がり伸びてきました。特に小さい子どものいる若い夫婦の増加が顕著です。

まちの活気は素晴らしいことですが、保育園の不足など新たな問題も生まれています。まちの変化に一番身近な行政として迅速に対応していかなければなりません。多くの皆様の声を聞き、区政に反映していきたいと思えます。この「虎の巻」は一方通行ですし、お伝えできることにも限界があります。定例会の内容等について、さらに詳しくご存知になりたい方、提案したい事がある方、なんとなく話したい方等々、どんなことでも結構です、なかまえ由紀までお気軽にご連絡ください。



港区議会議員 **なかまえ由紀** 行
FAX **03-3446-9033**

区政相談状(FAX相談状)

普段感じていらっしゃるご意見や皆様の生の声をお聞かせください。

お名前(ふりがな)	住 所	TEL
〒 -	東京都港区	

港区議会議員(無所属)

ゆき

なかまえ由紀



の港区虎の巻

Vol.42

発行/みらい(みらい通信(号外))
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112
TEL&FAX 03-3446-9033
✉ yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

発行日:H21. 8. 1



平成21年第2回定例会日誌

6月10日から19日まで開かれました。

港区では、初日、2日目に、議場で、各議員より区税全般に関する質問がなされます。なかまえ由紀の所属会派「みらい」では、小斉太郎議員が「麻布十番駐車場の問題」について、なかまえ由紀が「豊かな港区財政の有効な使い方」について質問しました。(質問要旨は裏面記載)

その後、委員会ごとに、今定例会に出された議案や請願を審議し、最終日に全議員による議決を経て、条例改正、補正予算等32件が可決、承認されました。

おもなものとしては、老朽化した保健所の改築に関する工事契約、新教育センターの整備事業、青南小学校隣地における運動場及び暫定保育室の整備、などが承認されました。

また、請願に関しては、2件が新規に提出され(「障がい者通所施設への助成拡大に関する請願」と「「気候保護法(仮称)」の制定を求める意見書提出の請願」)、2件ともに委員会で継続審議となり、過去に提出され継続審議中であった請願中、「「教育水準を高める為の国の支援策」を求める請願」(なかまえ由紀は採択を主張)が採択され、「「資源循環型社会をめざす清掃事業について」の請願」(なかまえ由紀は採択を主張)が不採択となりました。

また「世界から核兵器を廃絶するための決議」を港区議会として表明し、「介護施設の整備促進についての意見書」を都知事あて送付しました。

さらに今定例会では、私たち区議会議員の任期4年のうち折り返しにあたる約2年が経ち、議長・副議長などの人事や、所属委員会を改変しました。

なかまえ由紀は、常任委員会の所属を「建設常任委員会」から「保健福祉常任委員会」に移り、特別委員会の所属を「交通・環境等対策特別委員会」から「行財政等対策特別委員会」に移りました。平成18年におきたエレベーター事故を受けて設置された「エレベーター事故対策特別委員会」には引き続き、委員外委員としてオブザーバー参加いたします。

行政の様々な課題の中でも、保健福祉委員会で扱う「子育て支援」や「高齢者福祉」、「障害者福祉」は特に重要なテーマであり、港区の豊かな財政を活かし、安心して暮らせる社会を実現するため、引き続きがんばります。

なかまえ由紀

* — なかまえ由紀 プロフィール — *

- 昭和49年 京都府生まれ
- 平成元年 私立同志社中学校卒業
- 平成4年 私立同志社高等学校卒業
- 平成9年 東北大学教育学部卒業
民間企業勤務を経て
- 平成11年 港区議会議員選挙に立候補(795票、14票差で落選、次次点)
税理士事務所勤務を経て
- 平成15年 港区議会議員初当選(1,406票、6位当選)
- 平成19年 港区議会議員選挙2期目当選(2,056票、2位当選)
「保健福祉常任委員会」「行財政等対策特別委員会」所属
- 趣味: 自転車で出かけること
- 座右の銘: 一期一会



港区議会議員(無所属)

なかまえ由紀の港区虎の巻

発行/みらい(みらい通信(号外)) 〒106-0047東京都港区南麻布4-11-17-112 TEL&FAX03-3446-9033 E-mail: yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

《区財政に対するなかまえ由紀の考え》

国が経済危機に直面する中、毎年の余剰金が100億を超え、貯金が1年間の予算に匹敵するという自治体として特異な豊かさを誇る港区において、毎年膨らむ予算、しかし保育園の待機児童や高齢者の将来不安など深刻な課題がなかなか解決されずにいる現状をかんがみ、必要性や効果の検証があいまいなまま展開されている事業が多いのではないかと問題意識を感じています。たとえば、高額所得者も多い中、安易に所得制限なしの助成金を出す必要はあるのかなど。豊かさの果実は、シビアにならずに支出をできることではなく、本当に困っている方に手厚くできることではないでしょうか。豊かだからこそ無駄を精査し、子育てや福祉の充実といった優先度の高い事業に集中投資し、解決すべきと考えます。港区の20年度一般会計歳出決算額(1,119億円)は、人口の近い文京区(685億円)の実に約1.6倍ですが、サービスを受取る区民はそれを実感できているのでしょうか。港区には、あったら嬉しいがなくてもあまり困らない事業も多いのではないのでしょうか。外部の視点を多く取り入れた開かれた区政を実現し、無駄の排除、課題の解決、区民満足度の向上がなされることを望みます。

今後もこのような立場で議会審議に臨んでまいります。

一般会計とは

基本的な事業を遂行するのに必要な経費や収入に関する会計のことです。

決算特別委員会におけるなかまえ由紀の主な質問

- ・多額の経費がかかるプラスチックリサイクル(21年度予算は8億2千万円)にもコストの視点を。
- ・区で数多く発行されている刊行物は一元管理し、無駄や重複を省くべき。
- ・待機児童問題は、幼稚園の活用、港区独自基準による民間参入・誘致促進等、柔軟な発想で早期解消を。



第3回定例会におけるなかまえ由紀の質問

- ・高齢者が自宅で安心して暮らせる地域ネットワークの構築について
- ・保育園待機児童問題について



第4回定例会におけるなかまえ由紀の質問

- ・財政豊かでも助成金支出は精査をし、本当に必要なところへ集中投資すべき



「ふだんの生活の中で思ったこと」募集!

今回、なかまえ由紀が本会議及び委員会等で質問した内容は私自身が区内で日々実感する課題であると同時に、多くの区民の皆様からお寄せいただいたご意見やご要望をもとにしています。

すぐには実現しないこともございますが、これからも皆様の声が区政に生かされるよう議会で取り上げてまいりたいと存じます。

さらに暮らしやすい港区へと近づいていくために、どうぞなかまえ由紀まで皆様のお声をお寄せください。



* なかまえ由紀 プロフィール *

- 昭和49年 京都府生まれ
- 平成 4年 私立同志社高等学校卒業
- 平成 9年 東北大学教育学部卒業
民間企業勤務を経て
- 平成11年 港区議会議員選挙に立候補(795票で落選)
税理士事務所勤務を経て
- 平成15年 港区議会議員初当選(1,406票)
- 平成19年 港区議会議員選挙2期目当選(2,056票)
「保健福祉常任委員会」「行政等対策特別委員会」「エレベーター事故対策特別委員会」所属
- 南麻布在住
- 趣味: 自転車や徒歩でまちを感じる
- 座右の銘: 一期一会

港区議会議員(無所属)

なかまえ由紀



の港区虎の巻

Vol.43

発行/みらい(みらい通信(号外))
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112
TEL&FAX 03-3446-9033
✉ yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

発行日: H21. 12. 22

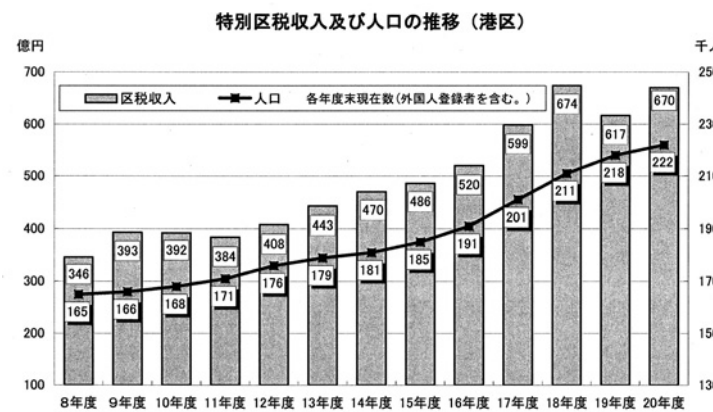


港区の財政どうなってるの?

9月29日から10月8日にかけて決算特別委員会が開かれ、20年度決算について審議しました。

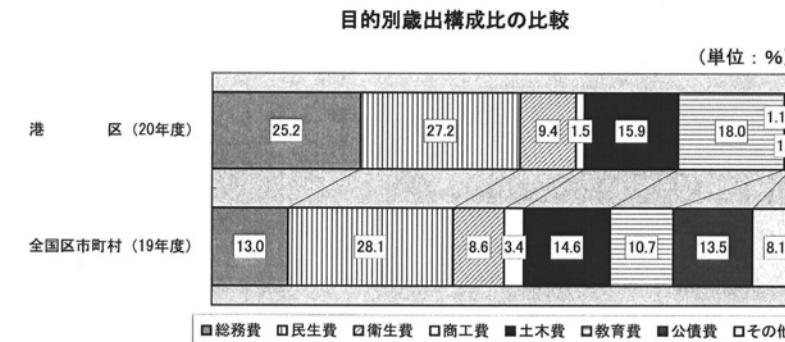
歳入(収入)

人口増(人口は今年、25年ぶりに20万人を突破!)等により、区税収入が前年度比53億円増加。総額は前年度比147億円増(13.3%)の1,249億円となりました。



歳出(支出)

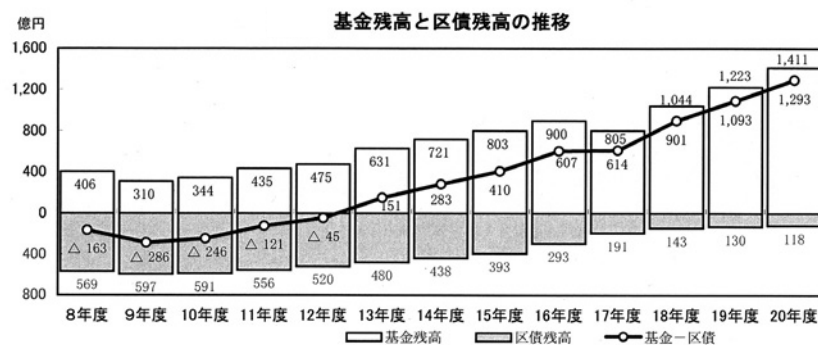
保育施設などに活用するため、南青山4丁目用地や三田4丁目用地を購入したことなどから、前年度比84億円(8.2%)増、総額1,118億円となりました。



図は「平成20年度決算 港区財政レポート」より抜粋

基金(貯金)と区債(借金)

豊かな財政状況を反映する結果となっています。



なかまえ由紀の所属党派「みらい」は



- ① 事業の必要性や効果測定を行う新たな行政改革に早急に取り組むこと
- ② 子育てをはじめ至急を要する施策を促進するため、区長が方向性を区民に明らかにすること
- ③ みらいの指摘・要望を区政に反映させることを要望し、決算を認定しました。

認定

港区議会議員 なかまえ由紀 行
FAX 03-3446-9033
(Eメールでも受付中! ✉ yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp)

区政相談状(FAX相談状)

普段感じていらっしゃるご意見や皆様の生の声をお聞かせください。

お名前(ふりがな)	住所	TEL
	〒 ー ー 東京都港区	

なかまえ由紀の港区虎の巻

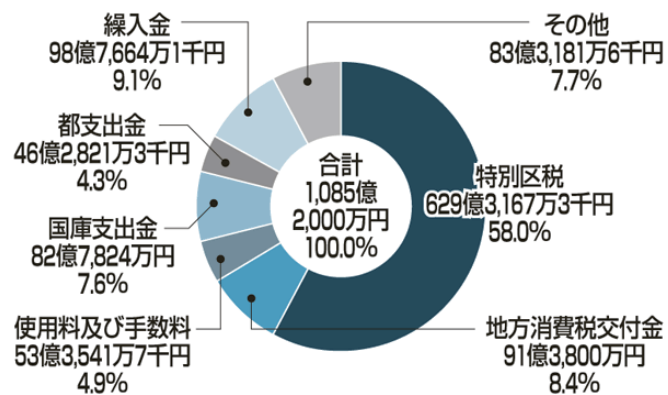


発行/みらい(みらい通信(号外)) 〒106-0047東京都港区南麻布4-11-17-112 TEL&FAX03-3446-9033 E-mail: yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

平成22年度予算が決まりました。

一般会計歳入予算額 昨年度より減少

予算総額1,085億2,000万円は前年度比238億900万円、18%の減です。
(主に公共施設建設や土地購入の費用が減ったことによります。)



主な事業

- ◆コミュニティバス「ちいばす」新規5路線運行 約3億5,800万円
- ◆待機児童解消 約13億3,500万円 (緊急暫定保育室を新たに2園開設)
- ◆小中一貫校の設置 港陽中学校学区 約2億5,600万円 (22年4月開校予定)
朝日中学校学区 約8,700万円 (建設準備)
- ◆緊急地震速報装置整備助成金 1,100万円 (購入および取付費の一部を助成)

財政状況 景気後退の波が港区にも

財政状況は依然、健全な状況を維持しているものの、平成22年度予算における特別区民税収入は21年度当初予算と比較し、35億円、5.6%の減収を見込み、バブル崩壊による財政危機以来13年ぶりに財政調整基金を15億切り崩し財源不足を補います。22年度の基金繰入額は財政計画で想定していた43億円を上回る99億円となります。

特別区民税収入は国の三位一体改革に伴い減収となった平成19年度を除き、11年度以降は人口増等により増収を続けてきましたが、ついに減少に転じ始めました。

港区ではバブル崩壊後の3年度から8年度にかけての5年間で、特別区民税収入が約200億円、率にして40%も減収となる未曾有の財政危機を経験した過去があります。特別区民税収入は景気動向の影響を受けやすく不安定な性質を有しており、今豊かでも楽観視は出来ません。

家計で言う貯金にあたる基金残高は21年度末で1,272億円あり、まだ危機的状況ではありませんが、区政の大きな転換点を見据え、皆様からお預かりした貴重な税金の執行には、常に高いコスト意識と行財政改革の視点が必要です。

いつもそのような立場から、なかまえ由紀は質問や提言を行っています。

財政調整基金とは…経済事情の変動などによる年度間の財源の著しい増減を調整するための基金です。

予算委員会における なかまえ由紀の主な質問・要望



- ・待機者の多い特別養護老人ホームや保育所等の入所選考にあたっては、公平性と透明性の確保を
- ・プラスチックリサイクルは経費節減を図り、環境負荷に与える効果の公表を
- ・刊行物の発行には効率性や効果向上の視点を
- ・経費をかけない駐輪場の整備促進を
- ・猫が好きな人も嫌いな人も共生できる飼い主のいない猫対策を
- ・ビオトープの有効活用を
- ・ドッグランの今後の展開について
- ・私立志向が高い港区における公立学校のあり方について

他。



なかまえ由紀の所属会派「みらい」の22年度予算への態度



今後税収規模が縮小していくことが推測されます。社会動向を的確に捉え、効果や緊急性に基づく優先順位付け等、事業全体の見直しに着手すべきです。また、透明性と公正性を追求し、区民に信頼される区政運営がなされるよう強く求めます。

以上要望し、予算に賛成しました。

なかまえ由紀

区政はもっと近くなる!



の港区虎の巻

Vol.44

発行/みらい(みらい通信(号外))
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112
TEL&FAX 03-3446-9033
✉ yuki.nakamae@rose.ocn.ne.jp

発行日:H22. 3. 25



住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指して

なかまえ由紀定例会質問

1 在宅介護の充実について

質問 地価の高い港区で特別養護老人ホーム等の施設整備は容易でなく、介護が必要になってなるべく在宅で過ごせる環境整備が必要では。

答弁 これからも在宅生活を支援する事業を推進していく。

2 認知症について

質問 区内には2,000人を超える認知症の方がいると推計される。①今後の啓発は。②予防に関する今後の展開は。③グループホームなどの整備促進も必要と考えるが、今後の施策展開は。

答弁 ①現在約2,500人いる認知症サポーターの養成講座や認知症を理解する講座の開催を増やす。また24年度整備予定の介護予防総合センターを拠点に情報の一元化や啓発に努める。②より多くの方に認知症予防事業に参加いただくと共に、支援するボランティアの技能向上と増員を図る。③家族の支援も含め、より一層の支援を行う。芝地区にグループホーム整備を計画している。認知症高齢者を地域で支える施策の検討を進める。

* - なかまえ由紀 プロフィール - *

- 昭和49年 京都府生まれ
- 平成 4年 私立同志社高等学校卒業
- 平成 9年 東北大学教育学部卒業
民間企業勤務を経て
- 平成11年 港区議会議員選挙に立候補 (795票で落選)
税理士事務所勤務を経て
- 平成15年 港区議会議員初当選 (1,406票)
- 平成19年 港区議会議員選挙2期目当選 (2,056票)
「保健福祉常任委員会」「行財政等対策特別委員会」「エレベーター事故対策特別委員会」所属
- 趣味: 自転車や徒歩でまちを感じる
- 座右の銘: 一期一会

港区ニュース



★区民に人気のちいばすが3月24日より7路線に拡大!今まで行きにくかった場所が行きやすくなり、坂道の多い港区で外出が楽になります。

★3月30日に都内最大規模の高齢者保健福祉施設「ありすの杜 南麻布」がオープン!地域住民も使えるウェルカムトイレやレストラン、セミナールームもあります。素晴らしい施設ですのでぜひ一度足を運んでみてください。
(「ありすの杜 南麻布」の整備により、港区の高齢者人口に占める特別養護老人ホームの整備率は「2.03%」となり、「23区平均1.02%」「全国平均1.56%」(平成21年1月現在)を上回り23区中1位に。)

★現在の福祉会館が23年度より「いきいきプラザ」に。生きがいづくりや介護予防がより充実。

★保育園待機児童解消に向け、暫定保育室2園、認可保育園3園を新設予定。

★三田中学校、高陵中学校の新校舎が完成。太陽が降り注ぐすばらしい校舎です。

★麻布野球場の休場日を短縮。また都立芝公園運動場の区への移管を都に要望するなど、スポーツ環境の充実にも努めています。

港区にも景気後退の波が及びますが、無駄を精査し、排除しながら、高齢者福祉や子育て支援の充実、うるおいのある区民生活の創出など区民満足度の向上にむけて今後ともがんばります。



港区議会議員(無所属)

中前 ゆき

なかまえ由紀

仲間へ勇気!



とら まき
の港区 虎の巻

Vol.45



発行/みらい(みらい通信<号外>)
〒106-0047 東京都港区南麻布4-11-17-112
TEL&FAX 03-3446-9033
✉ info@nakamaeyuki.com

発行日:H22. 11. 11

お知らせ 会派が変わります

～「みらい」(2人会派)を解散し「仲間へ勇気の会」(1人会派)へ～

同じような考えを持つ議員同士で結成するのが会派で、主に同じ政党に所属する議員は同じ会派を組みます。(たとえば自民党議員団、公明党議員団など)無所属の私は1期目は「仲間へ勇気の会」という1人会派で、2期目は同じく無所属であった小齊太郎議員と「みらい」という会派名で議会活動を行ってきました。しかし小齊議員の「みんなの党東京都第1区支部長」就任を契機に、なかまえ由紀は再び「仲間へ勇気の会」として、小齊議員は「港区議会みんなの党」としてそれぞれ1人会派で活動することになりました。これからも「行政のチェック機能」を十分に果たし、公平で透明な区政を目指しがambります。

ご意見募集 (FAX、メールなどでも結構です)

普段の暮らしの中で、何か変だな、もっとこうあってほしいという区政へのご意見要望があればなかまえ由紀にお寄せください。区議会に届けます。
区民の皆様の生の声を待っています。



議員活動支援のお願い

議員活動のお手伝いをしてくださるボランティアスタッフを募集しています。ポスター掲示、事務作業等、お時間のあるときにお手伝いいただけたら助かります。

切り取り線

◆港区の良いところは？

◆港区の悪いところは？

◆あなたにとって港区らしさは？

◆港区政や街づくりに関して、普段感じていることやご意見を自由にお聞かせください

* — なかまえ由紀 プロフィール — *

- 昭和49年 京都府生まれ
- 平成 4年 私立同志社高等学校卒業
- 平成 9年 東北大学教育学部卒業
民間企業勤務を経て
- 平成11年 港区議会議員選挙に立候補 (795票で落選)
税理士事務所勤務を経て
- 平成15年 港区議会議員初当選 (1,406票)
- 平成19年 港区議会議員選挙2期目当選 (2,056票)
「保健福祉常任委員会」「行政等対策特別委員会」「エレベーター事故対策特別委員会」所属
- 趣味：自転車や徒歩でまちを感じること
- 座右の銘：一期一会

港区のお知り合いをご紹介ください。

お名前(フリガナ)	ご住所	TEL
-----	〒 _____ 港区 _____	()
お名前(フリガナ)	ご住所	TEL
-----	〒 _____ 港区 _____	()

本会議で質問しました。



第2回定例会 (2010年6月10日)

スリムで効果的な区政運営を/利用者目線の高齢者サービスを

質問 22年度の区民税収入は前年度当初予算比35億円減の予測。無駄を省き、より必要な事業に集中投資する姿勢が求められる。①郷土資料館の21年度経費は入館者一人あたり1万円以上。必要な事業だが、文化事業とはいえ、経費削減や事業効果向上に取り組み、目標を立て評価を行うべき。また新資料館の設立はより少ない予算で最大の効果を上げる姿勢が必要。②検討中の新行政評価制度は区民や専門家からなる外部の視点を入れた聖域なき行政評価制度とすべき。③世田谷版事業仕分けへの評価と港区での導入の可能性は。

答弁 ①効率的効果的な運営を心がける。②引き続き検討する。③検討する。

質問 ①成年後見制度のさらなるPR、相談体制の充実、利用者が安心して任せられる後見人の育成が必要だが対策は。②困った時に今利用できるのがショートステイのあるべき姿。キャンセルが出たら利用者側にすぐ伝わるなど申込方法を利用者本位に改善すべき。

答弁 ①後見人養成などの実施に向け準備している。②利便性を高めるため引き続き検討する。

第3回定例会 (2010年9月17日)

1 自転車行政について



質問 自転車利用者やスポーツ自転車の増加に伴い、利用者マナーの向上や自転車道の整備等の対策が急務。①利便性と設置コストに優れたコイン式駐輪場の積極的整備を。②引き取り手のない撤去自転車の活用状況は。

答弁 ①地域の実情に合わせ積極的に取り組む。②リサイクルして販売する他、開発途上国へ輸出し、有効活用している。

郵便はがき

料金受取人払郵便

芝支店
承認
689

差出有効期間
平成24年11月
23日まで
(切手不要)

1 0 6 8 7 9 0

0 2 1

なかまえ 由紀

港区議会議員

行

(受取人)
東京都港区南麻布4-11-17
112

切り取り線

なかまえ由紀 は一人一人の声を区政に反映させます

(フリガナ)	☎ 03
あなたのお名前	
ご住所	

2 食べ残しごみの削減について

質問 食べ残しはもったいないだけでなく自給率の低下や地球温暖化にもつながる。欧米では食べ残した料理の持ち帰りが定着している。港区でも飲食店と一体になり、食べ残した料理を持ち帰るためのドギーバッグや小盛りメニューを推奨するなど、食べ物を大切に作る取り組みを。

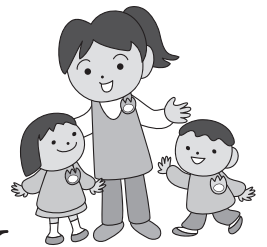
答弁 ドギーバッグについては、衛生面等の課題を幅広く検討する。小盛りについては、健康メニュー取扱店として区ホームページで紹介し普及を図っている。

平成21年度決算のご報告

決算特別委員会 (2010年9月28日～10月7日)

なかまえ由紀 質問・要望

財政運営について
景観行政について
保育園申し込み手続きについて
動物愛護について
商店街支援について
外部委託と契約のあり方について
受動喫煙防止について など。

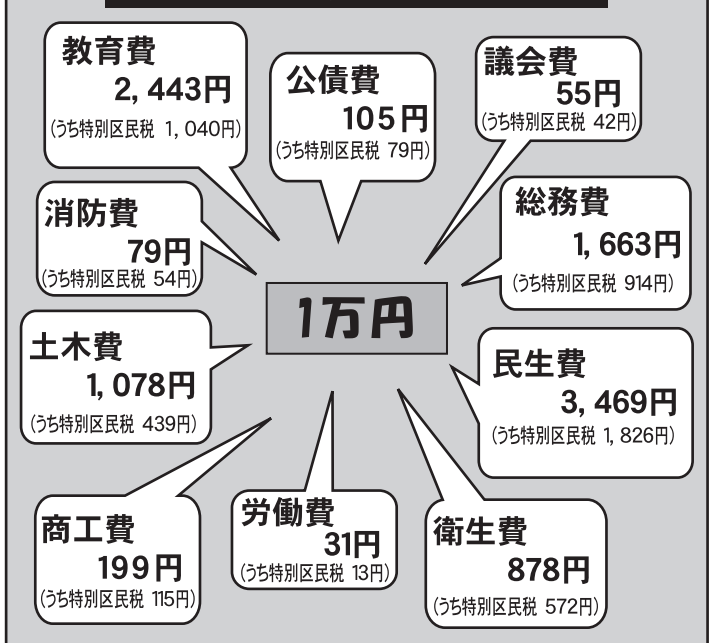


決算に対する意見



社会・経済動向の厳しさが増し、区税収入は減少傾向にある。平成22年度は当初課税ベースで506億円、平成21年度決算比約90億円の減収見込み。区役所の仕事を必要性や効果・効率の観点から聖域なく見直し、既存の各種計画も、将来区財政に与える影響を十分考慮し、改めて見直すことが必要。それが未来を担う子どもたちに社会を引き継ぐ大人の責務。本委員会では我が会派が提起した行政改革の取り組み、より公正で透明な区政運営を目指したさらなる取り組みを期待し、決算5案を認定。

1万円換算の歳出経費



(参考：平成21年度決算 港区財政レポート)